

IT プロセス自動化ソリューション

TrueSight Orchestration



Partner

複数の運用管理ツールを統合し、システム構築や運用を自動化

TrueSight Orchestration

サービスの概要

手順書の自動化によりオペレーションコストの大幅削減、ミス撲滅、処理速度向上を実現

急速なビジネス環境の変化に伴い、ITインフラ整備には俊敏性や柔軟性が求められています。日々複雑化するインフラの運用管理の負担が増大している一方で、IT部門にはコスト削減やシステムの安定性が要求されています。TrueSight Orchestrationは、複数の運用管理ツールを統合し、IT運用を自動化します。

手動で行っていた運用オペレーションを自動化することで、安定したサービス品質を実現しコストを削減します。

企業の課題

攻めのIT管理の実現

- IT運用管理者が行っている定常的な作業を自動化し、本来行うべき革新的なIT環境整備にリソースを回したい

障害対応時間を短くしたい

- オペレーションミスで障害が発生したり、障害からの回復に時間がかかり、ビジネス機会を失っている

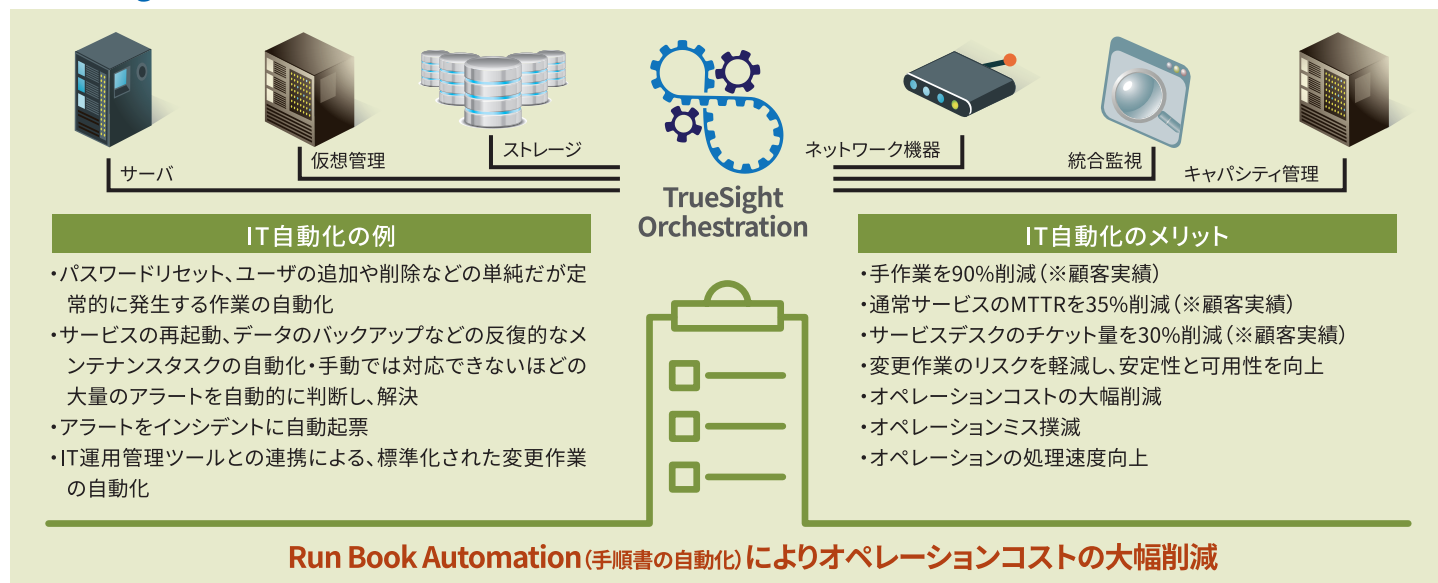
業務を効率的に分担したい

- IT管理が属人的になっていて、変化に素早く対応できない

東芝デジタルエンジニアリング株式会社

複数の運用管理ツールを統合し、システム構築や運用を自動化 TrueSight Orchestration

■TrueSight Orchestrationの利用シーン



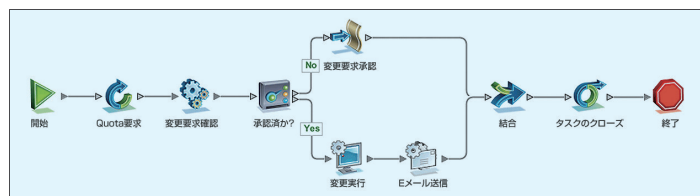
■TrueSight Orchestrationの特長

ITIL プロセスとベストプラクティスに基づいた千以上もの各種プロセステンプレートを用意

- すぐに始めることが可能で、はじめは単純な作業から自動化を適用し、徐々に複雑な作業にまで適用拡大させることができます。

グラフィカルなGUIをベースとしたワークフローデザイン

- オペレーション手順を処理フロー化し、定義します。
- スクリプトの知識がなくてもワークフローの定義ができます。
- 定義したワークフローは、本番運用する前にデバッグすることができます。



自動、手動によるプロセスフロー実行

- 定義したワークフローは手動による実行のほか、スケジュールで実行したり、何かのイベントで実行したりすることができます。
- 実行結果はロギングされます。

多種多様なアプリケーションに連携

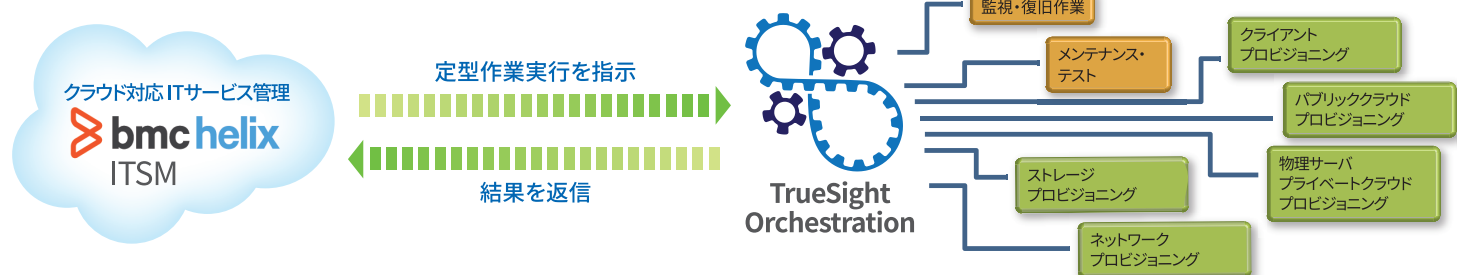
- BMC製品および他社製品とのアプリケーション間連携を、プログラミングなしで定義することができます。
- アプリケーション以外にも、SMTP、HTTP、コマンドライン、SQLなどのコネクタもあるため様々なシステムと連携することができます。

ロードバランシングと高可用性を実現可能なグリッドアーキテクチャでエンタープライズ環境にも対応

- パフォーマンスに優れたグリッドアーキテクチャを採用。
- 1秒間に350のジョブの受付可能/同時に2,500のジョブを実行可能。

■BMC Helix ITSMとの連携による付加価値の創造

BMC Helix ITSMと連携することによりIT部門でのプロセスを一元管理することができます。



□BMC Helix ITSM、TrueSight Orchestration は、BMC ソフトウェア株式会社の登録商標です。□Force.com、Chatter は、salesforce.com, inc. の登録商標です。
□本文中の会社名および製品名は各社が商標または登録商標として使用している場合があります。□本資料の内容は予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

(LS00027)

東芝デジタルエンジニアリング株式会社

E-mail: TDEN-sales@ml.toshiba.co.jp

<https://www.toshiba-tden.co.jp/>